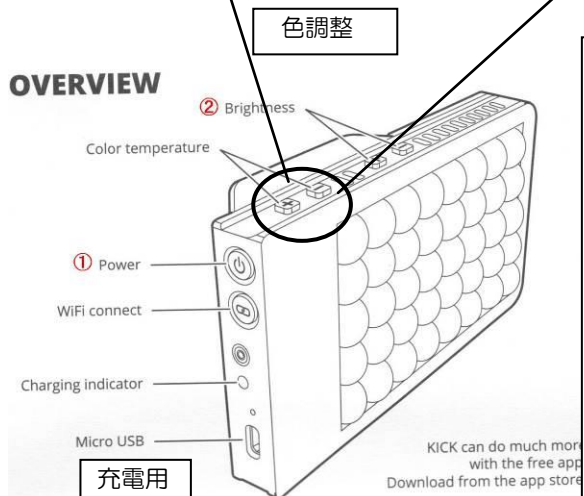


オプション:ライトキット (Light Kit)



1. キットにはライト本体、フード、ジョイントボールの3点が入っています。ライトは充電式です。事前に充電を行ってください。
2. ライト本体にフードとジョイントボール(左図下部に取り付けねじ穴があります)を装着します。
3. ジョイントボールを使ってスキャナー本体に装着させます。標準のグリップは使用できません。
4. ①の電源 On。
5. ②の“+”を必ず押して明るさを調整します。(初期状態では点灯しません)

販売価格：4万3千円（税別、送料別）

オプション:拡張ポールキット (Extension Pole Kit)



1. キットには下記が含まれます。
 - A) タブレット用フレームセット、ジョイント（この2つはスキャナー標準付属品と同じ物です）及び自立スタンドで構成されています。写真のタブレットはスキャナーから外して装着します。
 - B) USB 延長ケーブル（リピータケーブル）5m。スキャナーと変換ケーブルの間に装着します。スキャナー → 延長ケーブル → 変換ケーブル → タブレットとつないでいきます。このケーブルは電源を必要とします。タブレットのバッテリーから供給されますので計測可能な作業時間は通常よりさらに減ります。予備タブレットを用意されることを強く推奨します。
 - C) ジョイントボール（1/4 インチカメラ用のナット側）写真では市販の一脚を装着しています。
 - D) 変換アダプタ（ねじの径が約 18.7mmφ→1/4 インチねじ）適用ポールは後述
 - E) その他固定バンドなど
2. A から E を状況に応じて組み合わせて使います。C については、準備されるポールの種類によって C の単体使用と C+D で使うケースがあります。

D のアダプタを使うポールについての補足

外壁などの塗装に使うローラ用としていろいろな長さのもの（伸縮タイプもあります）が市販されていて、ホームセンターやネットで入手できます。カメラ用一脚を使うよりは比較的安価に調達できます。このアダプタの先端は 1/4 インチねじになっていますので、C のジョイントボールを装着してスキャナー本体につながります。

販売価格：6万円（税別、送料別）